

2012.03.28 大崩山山行報告書

担当: M0 田中李樹

①参加メンバー(敬称略・計4名)

M1: 荒川 M0: 今村 久本 田中

②行程

延岡市内 05:30→登山口 06:50→07:20 大崩山荘 07:30→渡渉点(湧塚分岐点)07:50→09:15 袖ダキ 09:25→09:55 下湧塚 10:05→中湧塚 10:20→11:00 上湧塚 11:05→11:50 山頂 12:05→坊主尾根コース分岐点 12:35→小積ダキ 13:20→15:20 大崩山荘 15:50→登山口 16:20→温泉!

③山行報告書

延岡駅前のホテルを5時半頃出発。レンタカーで登山口を目指しました。運転手は前半が荒川さん、後半は久本くん。延岡市の市街を抜け段々と道が細くなり、終盤は祝子川沿いに細い道を蛇行しながら進みました。登山口についたのは6時50分頃。既に一台のレンタカーがあり単独の登山者の方が登り始められるところでした。この方とは登山中何度か追いついたり追いつかれたりし、山頂から一緒に下山することになります。下の写真は登山口にあったコースの案内です。

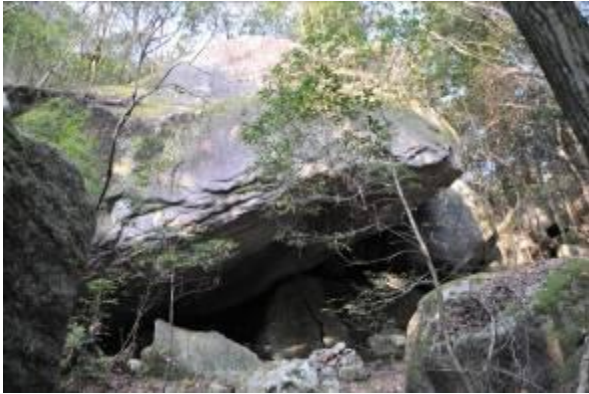


30分ほど歩くと大崩山荘に辿りつきます。きれいで立派な山小屋でした。少しだけ休憩しすぐにまた進み始めました。ここまで祝子川左岸を進んできましたが、湧塚分岐点で対岸に渡る必要があります。



最初に目に入ったのが左の写真の橋です。見たところパイプを二本ならべただけで、渡り切った先もかなり進みにくそうな感じでした。ここで先ほどの登山者の方に呼び止められました。この方は宿泊した近くの宿で詳しい地図を仕入れてきたらしく、もう少し上流に渡れるところがあると教えてくださいました。

上流に行くと確かに渡れる場所がありました。左奥に見えるのが先ほどの橋です。随分こちらのほうが渡りやすかったと思います。呼びとめてくださった登山者の方に感謝です。



ここを渡ったあたりから少しずつ登りが始まり、傾斜が急になります。話に聞いていた通り斜面には大きな岩がたくさんあり（左写真）、時折ロープなどを使いつつ登っていきます。（下写真）



こうして9時15分頃、川を渡って1時間半程度で最初の見どころである袖ダキにたどり着きました。何本もの梯子を渡りそり立つ岩の上に出て拝めた景色が左の写真です。大崩山の山行報告ではたいていここからの眺めが取り上げられ、何度か写真で見た光景が広がっていました。左端に映っているなだらかな斜面が山頂に続きます。

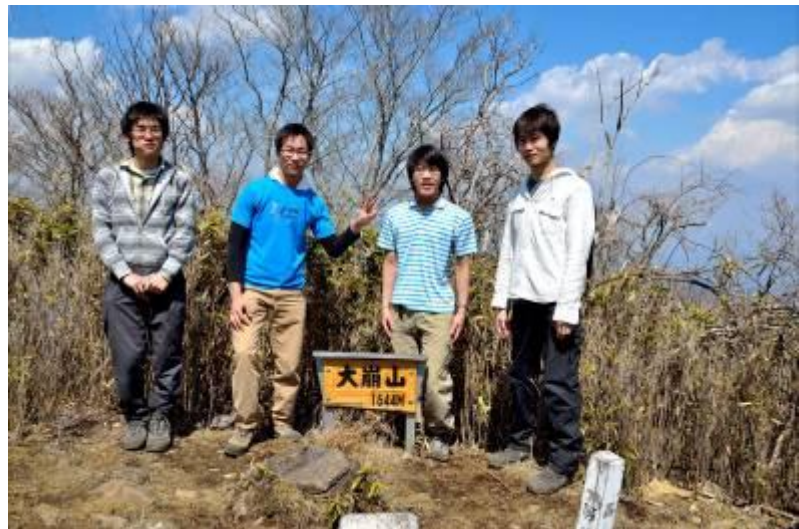
この後はそり立つ岩壁の反対側を迂回していきます。途中登山道が分かりにくいところがあり、苦労しました。ある程度進んだところで先ほどの登山者の方に追いつきホッとしました（いつの間にか抜かれていたようです）。



この先は下湧塚、中湧塚、上湧塚を経て山頂を目指します。岩の上に出て休憩しながら素晴らしい景色を楽しむことができました。（左写真）

上湧塚からは非常に平坦な登山道でした。木立の間を抜け辿りついた山頂は土に覆われ、ここまでの登山道の様子からするとかなり地味な印象でした。（右写真）

11時50分頃山頂に着き15分ほどの休憩ののち下山を始めました。下山の際は登りで何度か一緒になった登山者の方がずっと後ろについてきてくださいました。



ここからは一気に高度を下げていく感じで、はしごやロープを使うところが連続し時折現れる巨大な岩を眺めつつ下りも楽しめるコースでした。（左写真）登山口に戻ったのは16時20分。その後近くの祝子川温泉につかって帰りました。

関東からはかなりアクセスに苦労する山域でしたが、おおむね天候にも恵まれその魅力を十分に堪能できる山行になったように思います。